



『第 12 回関西がん治療と妊孕性温存の勉強会のお知らせ』

秋涼の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。緊急事態宣言がようやく解除されましたが、現場では緊張状態が持続しているとお察しいたします。当勉強会も昨年 6 月に開催予定でしたが、延期を余儀なくされておりました。今回、医療者のコロナワクチン接種完了及び十分な感染対策を考慮し、現地開催することといたしました。当勉強会は看護職を対象に知識の向上や具体的支援方法の習得、そして顔の見える施設間連携に向けての取り組みを目的としており、今回 12 回目を迎えます。

がん患者さんの高額な治療費負担の中、国は 2021 年 4 月から「小児・AYA 世代がん患者等に対する妊孕性温存に係る経済的支援」を開始しました。各自治体での補助の格差をなくし、がん患者さんが将来子どもを持つことの希望をつなぐ取り組みとして、とても画期的な対策と考えています。そんな中で、妊孕性温存治療を選択するかなど、意思決定支援する機会が増えてくると思われます。今回の勉強会では、困難なケースの事例検討や共有意思決定支援ガイドについて具体的アプローチを学び、実践に活かせる機会にしたいと考えています。感染対策のため参加人数の制限によりご迷惑をおかけしますが、ご興味のある方はぜひ参加くださいますようお願いいたします。

日 時 2021 年 11 月 14 日(日) 13:00~16:30 (開場 12:45)

場 所 IVF 大阪クリニック 3F オアシスホール

東大阪市長田東 1 丁目 1-14 大阪メトロ中央線 長田駅 4 番出口徒歩 3 分

内 容 専門分野の医師より講演

①『がん生殖医療の実際』

IVF 大阪クリニック 生殖医療専門医 藤岡聡子副院長

②『血液がんの診療と妊孕性温存』

大阪国際がんセンター 血液内科 多田雄真診療主任

③『がん・生殖看護におけるカップルへの共有意思決定支援』

京都橋大学 看護学部 看護学科 上澤悦子教授

講演後、事例検討を通し、学びを深める。

対 象 がん治療と妊孕性温存に興味のある看護職

定 員 先着 30 名

参加費 1,000 円

お申込み・お問い合わせ

参加ご希望の方は 11 月 5 日(金)までに下記事項を明記のうえ、E-mail でご連絡ください。

① 氏名

② 勤務施設

③ 所属部署

④ 資格 看護師・助産師・保健師・その他 ()

認定看護師 ()・専門看護師 ()

⑤ Email



11 月 5 日(金)まで 関西がん治療と妊孕性温存の勉強会事務局

Email : onfens@gmail.com

